

薬剤耐性対策 当会の取り組み

一般社団法人 知ろう小児医療守ろう子ども達の手

親向けお話し会

2時間のお話し会で、医師との付き合い方、病気との向き合い方、私たち患者ができることについてお話ししています。

抗生物質や薬剤耐性についても、触れます。

熱が出た！

こんな時は、早めに受診（時間外でも）

- ① 生後3か月未満
- ② 嘔吐を繰り返し、水分がとれない
- ③ ぐったり
- ④ 初めてひきつけた
- ⑤ 呼吸がおかしい



発熱の考え方

- ① 熱が高いほど病気が重いわけではない
- ② 年齢により対応が変わる
(新生児>3か月未満>3才未満の順に要注意)
- ③ 感染症の発熱は、病原体から体を守る正常な反応

発熱の原因

ほとんどが感染症で、感染症のほとんどがウイルス性

→ 抗菌薬が無効

気持ちを伝えてみよう

「家で見ていても大丈夫な症状が分からなくて・・・」

「なるべくなら、薬はあまり飲ませたくないのですが」

- 嘘をつかず、正直に相談を。
医療者は一緒に子育てをするパートナー
- 「できれば」「なるべくなら」
(必ずしも希望がすべて通るわけではないけれど・・・)
- 感謝の気持ちも伝えよう



2017年11月～現在までの活動

2017年11月29日 杉並区ひだまりクリニック

2018年

12月9日 横浜市戸塚区こまち

1月18日 横浜市港北区どろっぷサテライト

1月30日 杉並区立堀ノ内子供園

2月14日 杉並区立和田中央児童館

2月17日 相模原市子育て親育ち応援団

2月21日 杉並区立子ども・子育てプラザ和泉

3月2日 加須市加須市民プラザ

3月3日 大田区じいちゃんち

3月14日 茨城県つくば市ままとーん

3月17日 相模原市子育て親育ち応援団

6月6日 杉並区玉成幼稚園

6月24日 子ども・子育てプラザ天沼

7月6日 杉並区和田中央児童館

7月9日 たらちね助産院

7月30日 横浜市西区地域子育て支援拠点スマイル・ポート

しろうジャーナル(メールマガジン)

登録者数 1,000人以上

リーチ数 20,000人以上

2017年11月 薬剤耐性(AMR)について

2018年11月 抗生物質とコミュニケーション



毎年、薬剤耐性月間に取り上げていきます。
地道にコツコツ・・・新しく父・母になった方に。

企業向けセミナー

子どもが一番病気をしやすいのは乳幼児期、特に集団生活のスタートの年！

小さい子どもが病気をするという認識を広め、子どもを取り巻く大人たちが、安心して病気と向き合い、働ける企業となるために、社員教育の一環として、企業における働き方改革小児医療セミナーを実施。

- 2017年10月～2018年3月
プーマジャパン様にて5回
- 2018年3月 株式会社富士通総研様

抗菌剤(抗生物質)の話

- 抗菌剤は細菌を殺したり、弱めたりする薬
- ウィルスには効かない
- 子どものかぜはほとんどウィルス



抗菌剤は効かない

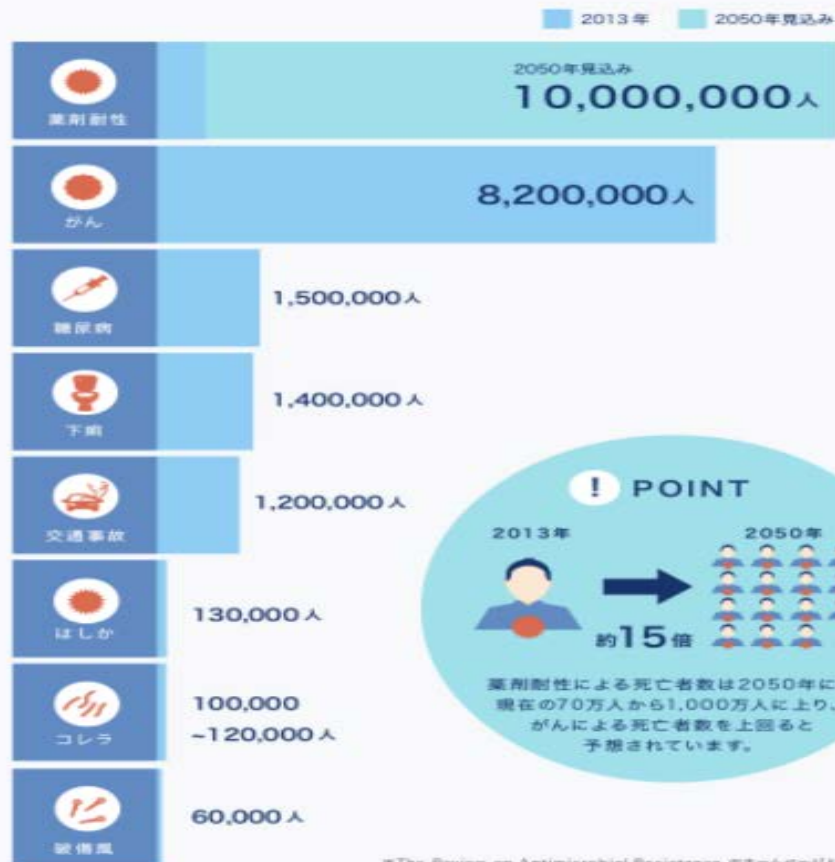
知ろうAMR、考えようあなたのクスリ

薬剤耐性の脅威とは？

Antimicrobial Resistance: AMR

薬剤耐性が原因の死亡者数

1年あたりの薬剤耐性とその他主な死亡原因



※The Review on Antimicrobial Resistance のホームページより引用

国立国際医療研究センター
AMR臨床リファレンス
センター
<http://amr.ncgm.go.jp/materials/>